

# 6月着工 貸家が20カ月ぶりに減少 持家は2.6万戸 3カ月ぶり減少に

国土交通省が7月31日に公表した6月の新設住宅着工戸数は8万7456戸(前年同月比1.7%増)。分譲住宅が増加し、特にマ

平成29年6月新設住宅着工統計 (▲は減少、無印は増加)

	戸数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
新設住宅合計	87,456	11.4	1.7
利用関係別	持家	26,037	9.2 ▲3.4
	貸家	35,967	9.1 ▲2.6
	給与	476	43.4 ▲1.2
	分譲	24,976	17.0 15.5
地域別	首都圏	32,280	16.3 8.6
	中部圏	9,926	19.9 6.0
	近畿圏	12,002	8.0 ▲5.4
	その他の地域	33,248	6.1 ▲2.7
構造別・建て方別	木造	47,786	6.8 0.6
	一戸建	34,290	7.8 ▲0.6
	非木造	39,670	17.6 3.2
	共同住宅	33,215	20.5 6.3
工法別	軸組木造	35,687	4.7 ▲0.1
	在来非木造	28,431	20.4 7.9
	プレハブ	12,487	12.0 ▲6.3
	2×4	10,851	12.6 3.1

増加に転じた。一方、貸家が20カ月ぶりに減少へと転じ、持家も減少している。季節調整済年率換算値は100万3248戸。利用関係別に見ると、持家は3カ月ぶりの減少となる2万6037戸(同3.4%減)。公的資金によるものは4カ月ぶりに増加し

たが、民間資金によるものが3カ月ぶりに減少した。貸家は3万2967戸(同2.6%減)。長らく増加が続いていた、民間資金によるものが20カ月ぶりに減少。公的資金によるものも4カ月連続で減少した。分譲住宅は先月の減少から再び増加に転じた。一方、貸家が20カ月ぶりに減少へと転じ、持家も減少している。季節調整済年率換算値は100万3248戸。利用関係別に見ると、持家は3カ月ぶりの減少となる2万6037戸(同3.4%減)。公的資金によるものは4カ月ぶりに増加し

## 10月から3月の引き渡し戸数 建設業は35万9886戸

国土交通省は7月31日、住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保措置の実施状況(基準日:平成29年3月31日)を公表した。28年10月1日から基準日までに引き渡された新築住宅は50万9873戸で、昨年同月から3万2489戸増加。そのうち建設業者が引き渡した住宅は35万9886戸(5万8761事業者)。当該期間に引き渡した戸数が0戸だった建設業者は、3万7053事業者だった。資力確保措置について建設業者が住宅のうち供託)を選入は18万9900戸(50.1%)事業者の置は、「保のみ」の事5事業者

透湿ルーフィング協会(東京都渋谷区、杉田賢造会長)は7月21日(金)、フクビ化学工業(株)東京支店にてセミナーを開催した。

## 透湿ルーフィング協会がセミナー開催

初めに会長の杉田賢造氏(セーレン(株)ハウジン)グ資材販売部部長)は同協会の歴史を簡単に紹介しつつ挨拶。協会設立当初は正会員4社・準会員2社・賛助会員2社の8社からスタートし、製品拡販の他、最終的にはJIS認定の取得を念願していたことを述べ、現在は正会員3社・準会員2社・賛助会員6

社の計11社の陣容になったことを報告。平成24年に透湿ルーフィングのJIS化へ向けたプロジェクトを立ち上げたプロジェクトを進める中、昨年8月に外壁用の透湿防水シートの規格(JIS A 611)に「屋根用」として講演。最後に同協会顧問の土屋喬雄氏(東洋大学名誉教授)による「屋根下葺き材としての透湿ルーフィングの意義について」のテーマで講演が行われた。

<届出の受理状況について>

	建設業者	宅地建物取引業者	合計
当該期間に引き渡した新築住宅の戸数	359,866 戸	150,007 戸	509,873 戸
事業者数 (うち、引き渡し戸数(0戸)の事業者を除いたもの)	58,761 事業者 (21,708 事業者)	15,816 事業者 (5,948 事業者)	74,577 事業者 (27,656 事業者)

<資力確保措置の実施方法について(戸数)>

	保証金の供託	保険への加入	合計
建設業者が引き渡した新築住宅	179,526 戸 (49.9%)	180,340 戸 (50.1%)	359,866 戸
宅地建物取引業者が引き渡した新築住宅	75,822 戸 (50.5%)	74,185 戸 (49.5%)	150,007 戸